

技術経営の最前線

戦略転換の可視化

日時: 7月14日(水) 19:00~20:30

講師: 児玉文雄 東京大学名誉教授

概要: IBMは製造業からソリューション事業への選択と集中を経てe-ビジネスという新産業を創出した。日本のメモリー産業の攻勢により瀕死の状態に陥り「死の谷」を迷い歩いていたインテル社は「戦略転換」により不死鳥のように再生した。翻って我が国の企業の戦略はどうであろうか? 技術経営戦略を何らかの形で「可視化」することがMOT(Management of Technology)研究の第一歩である。本講演では研究開発費、設備投資額、営業経費等の3つのパラメーターから2つを選びCEO在任期間と比較することにより、日米ハイテク企業の技術経営戦略の可視化を試みるとともに、どのようなインプリケーションが得られるかを述べる。

データマイニングがもたらす情報システムの未来

日時: 7月21日(水) 19:00~20:30

講師: 羽室行信 関西学院大学経営戦略研究科准教授

概要: 近年の情報技術の劇的な進歩に伴い、情報システムの主役がハードウェアからソフトウェアそしてデータへと変遷してきている。個人・企業に関わらず、多様なデータを集積することが莫大な利益に結びつくことに気付き、いかにしてデータを集積・活用するか多くの企業が躍起になっている。このような現象を支える中心的役割を担っているのが「データマイニング技術」である。本講演では、データマイニング技術のビジネス応用を中心として、企業における今後の情報システムのありかたについて解説する。

破壊的イノベーションの脅威と対応策

日時: 7月28日(水) 19:00~20:30

講師: 玉田俊平太 関西学院大学経営戦略研究科教授

概要: 企業の持続的な成長のためにはイノベーションが不可欠だが、業界トップの優良企業であってもあるタイプのイノベーションには打ち負かされ滅んでしまうことがある。このようなタイプのイノベーションは破壊的イノベーションと呼ばれ近年注目を集めている。本講演では破壊的イノベーションとは何か、なぜ既存優良企業は破壊的イノベーションに太刀打ちできないのか、破壊される側でなく破壊する側になるためにはどのようなマネジメントが必要かについて理解を深める。

会場: 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1004 教室 (大阪市北区茶屋町 19-19 アプロースタワー10階)

*参加費、事前申し込みは不要です。MOTに関心をお持ちの方、ビジネススクールへの進学を検討されている方のご参加をお待ちしております。

お問合せ先: 関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 tel: 0798-54-6572 e-mail: iba@kwansei.ac.jp